

第10-7号

耕人

『耕人塾』

塾長 木村 民男

令和3年12月18日(土)

第10期『耕人塾』の1年間を振り返って

第10期『耕人塾』は、昨年からの新型コロナ感染拡大に伴って、当初の計画を大幅に変更せざるを得ませんでした。特に、実践活動（「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」）を4回から1回に減少、宿泊研修を日帰り活動に変更、こころの森植樹活動・日本の伝統文化（茶道）の中止は、塾生も楽しみにしていた活動だけに大変残念でした。しかし、教学委員を初め多くの方々の努力のお陰で回数は半減したものの、多彩な講師をお招きしての講話や個人での実践活動の継続など、充実した活動にすることができました。『耕人塾』活動の1年間を振り返ってみたいと思います。

活動	月日	場所	内容
第1回	5/22 (土)	矢本東 市民セ	○講話「未来を拓く」（矢本一中校長・教学委員アドバイザー平塚真一郎氏）、○交流活動、個人目標の設定、意見交換
第2回	6/19 (土)	矢本東 市民セ	○講話「志を持つこと」（石巻北高教諭剣道部顧問武田直大氏）、○「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」の個人実践について
第3回	7/17 (土)	矢本東 市民セ	○講話「縁の力」（株式会社高正代表取締役社長高橋正樹氏）、○実践活動の継続とSDGsについて
第4回	8/7 (土)	松島自 然の家	○実践活動（テーマ：頭と心と体を鍛えるワークショップ）、○奥松島ウオークラリー、ニュースポーツ、実践活動意見交換
第5回	10/23 (土)	矢本西 市民セ	○講話「『好き』は最強の味方」（いしのまき観光大使シンガーソングライター萌江氏）、○実践活動の合言葉を考えよう
第6回	11/7 (日)	いしのまき元 いちはり町	○実践活動「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」25名参加、○旧北上川沿いや町中のゴミ拾い、拾ったゴミ5袋
第7回	11/20 (土)	矢本西 市民セ	○講話「もったいないをありがとうに」（フードバンク石巻代表末永博氏）、○実践活動の振り返りと今後の見通し
第8回	12/18 (土)	矢本西 市民セ	○個人実践活動「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」の報告会 ○閉塾式：1年間の感想発表、修了証授与

震災後、心の復興は人材育成にあるとスタートした『耕人塾』も第10期を終了することができました。来年度も『耕人塾』の活動をさらに充実させ、「世界に誇れる地域」にするための輪を広げていきたいと考えています。第10期の閉塾式に当たり、塾生はじめ運営委員、教学委員、参与、協力員、サポーター、後援機関等の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

「あいさつ」とは、相手への「心遣い」

12/11(土)河北新報「声の交差点に掲載された「長男導く周りの人に感謝」（阿部雅美 48歳 東松島市・公務員）を紹介します。「先月末、高校3年生の長男が、お菓子の箱を携えて帰ってきました。聞けば電車で席を女性の方に譲ったら、別れ際にどうしても持たせてくれたものだと思います。普段は見えない息子の姿が見えたようで、とてもうれしくなりました。（略）息子は6年前から、片道1時間の電車通学を始めました。親としては無事に通えるか、と心配でなりません。携帯電話を置き忘れたこともありますし、駅の駐輪場に止めた自転車を盗まれたこともありました。そのたびにどなたかが力になってくれました。（略）今回、席を譲ることができたのも、きっと誰かが、車内で席を譲る姿を見ていたからだろうと思いました。（略）今回の出来事がなければ、それが分からなかったかもしれません。お菓子をくださった女性の方、お心遣いをありがとうございました。家族でおいしくいただきました。」

「あいさつ」とは、このような一人一人の心遣いが土台になるのだと思います。